

逗子の景観まちづくり

瓦版 第五十二号

平成二十八年七月十五日 次号は十月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「亀井児童公園にて」

逗子に四十年以上住んでいますが、亀井児童公園のことは知りませんでした。こんなにまちの中心にあるし、近くのバス通りはいつも通っているのに、不思議です。今回の瓦版



「亀井児童公園にて」 絵 小平 修治

スケッチ会がなければ、知らないままだったかもしれません。

絵は子どものころから好きでした。ちゃんと描き始めたのは高校のとき。写生中心の授業だったので、教室から出ることができるという理由で、美術を選択しました。もともと、外に出ても遊ばずにちゃんと描いていましたよ。その後、会社勤めになってからは時間に追われて、絵からはすっかり離れていました。

六十代になって時間に余裕ができました。さでどうしようと思ったときに絵が好きだったことを思い出し、絵のサークルに入ることにしたのです。現在は彩友会という会で活動しています。写生会をすることもありますが、普段は会員が持ち寄った画題、例えば季節の花や野菜などを室内で描くことが多いです。年に一度、文化プラザのギャラリーで展覧会も開いています。

今回のように公園でスケッチするのは、新鮮な気分です。亀井児童公園はまちなかにあるのに、緑に囲まれていて遊具もあって、気持ちがいい。小さなお子さんとお母さんが遊んでいたり、ひと休みしている人や通り抜ける人もたくさんいて驚きました。このようなまちなかの公



「亀井児童公園」 絵 本多 正江

園はとても大切だと思います。小さなお子さんたちはお母さんに見守られて、好きな遊具で遊び、遊びを通して知恵を身に着けるのでしょうね。逗子にも自分がまだ知らない公園があるのでしようから、そういうところを探しながらまち歩きをするのも、楽しいかもしれないですね。

小平修治さん（話し手）

及川佳寿美（聞き手）

イベント参加でいつもと違う逗子の景色を観てみよう

※今回紹介したイベントはどなたでも参加できます！



描く

瓦版スケッチ会 @亀井児童公園

瓦版といえば、表面のコラムとスケッチ。これまで逗子の景観をたくさんの方に描いていただきました。これからも逗子の景観の魅力をスケッチやコラムで伝えていきたいと思っています。そこでこのたび初企画「瓦版スケッチ会」を開催しました。場所は、逗子の中心市街地にありながら緑豊かな亀井児童公園。商店街から一歩路地に入った先にあるこの公園は、車が入ることのできない緑に包まれた静かな空間。買い物ついでに休憩したり、小さな子供が遊んでいたり、ベンチや遊具、藤棚もあって、世代を問わず癒しの場所です。



KARU

スケッチ会当日は雨が降り出しそうな梅雨の一日でしたが、むしろ木陰は涼しく、子どもたちも元気に遊んでいました。参加者の方は「逗子には魅力ある路地や公園がたくさんある。」「みんなで描いていきたい。」とおっしゃっていました。というわけで、今秋にも開催を予定しています！逗子の景観を愛するみなさん、一緒にスケッチしませんか。



2016. 6. 16 開催

田越川・久木川一斉清掃

守る

6月18日（土）、毎年開催されている田越川・久木側の一斉清掃が行われました。今年で9回目だそうです。逗子市を代表する川を逗子で暮らす人々の手によって清掃されるこの日の景観は、逗子ならではの。当日は701人が参加し、上流から下流まで一括清掃。なんと1.36トンものゴミが回収されました！たくさんのゴミがあったことに驚くくらい、いつも穏やかで、よく見ると川底まで見える田越川・久木川。美しい川を大切にする逗子の恒例行事です。



ツール・ド・逗子2016

巡る

6月5日（日）、自転車や歩きで市内を周遊する「第8回ツール・ド・逗子2016」が開催されました。主催は「歩行者と自転車のまちを考える会」。スタート前に自転車の交通ルールなどを学び、亀ヶ岡神社を出発です。コースはショートとロングの2コース。ロングコースは今年、三浦半島観光連絡協議会により設置された3市2町の特徴を示すモニュメントを巡るコース。ショートは桜山、逗子、沼間、小坪、新宿、久木の各地区に設けたポイントのスタンプラリーです。午後2時頃まで雨が降っていたため、約70名の参加でしたが、それぞれこのイベントで初めて触れた「逗子」もあったようです。歩行者と自転車の会会長三浦清洋さんによる「逗子の景観を考える」は瓦版第45号裏面に掲載されています。



瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり課

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観まちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。